



感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2023 年 第 9 週（2月27日~3月5日）

< 全数把握対象疾患の患者情報 >

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	1 人 類型 患者 血清型 O26
四類感染症	報告なし
五類感染症 カルバペナム耐性腸内細菌科細菌感染症	1 人 菌種 <i>Klebsiella</i> sp.
急性脳炎	1 人 病原体 不明
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 人 血清群 B 群
梅毒	8 人 病型 早期顕症 期 2 人、 早期顕症 期 3 人、 無症状病原体保有者 3 人
破傷風	1 人
百日咳	1 人 年齢階級 50 歳代

新型コロナウイルス感染症については、県ホームページ「新型コロナウイルス感染症の県内の発生状況」

(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/covid19/jokyo.html>) 内の「陽性確認者」を参照してください。

< 定点把握対象疾患の患者情報 >

小児科及び内科定点把握対象疾患では、インフルエンザ(10.38 10.63 : 図 1-3)の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。9 保健所（前週は 7 保健所）管内で注意報レベル基準値である定点当たり報告数 10.00 以上となり、保健所別では、川口市(16.20)、草加(16.16)、さいたま市(14.73)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、6 歳の報告が最も多い。

眼科定点報告疾患では、流行性角結膜炎 6 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、細菌性髄膜炎 1 人、感染性胃腸炎(ロタウイルス)1 人、インフルエンザ(入院)7 人の報告があった。

全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL:

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idschtml>) で御覧になれます。

< インフルエンザ流行情報 (第9週) - 小児科定点・内科定点からの報告 - >

図1 定点当たり報告数の推移

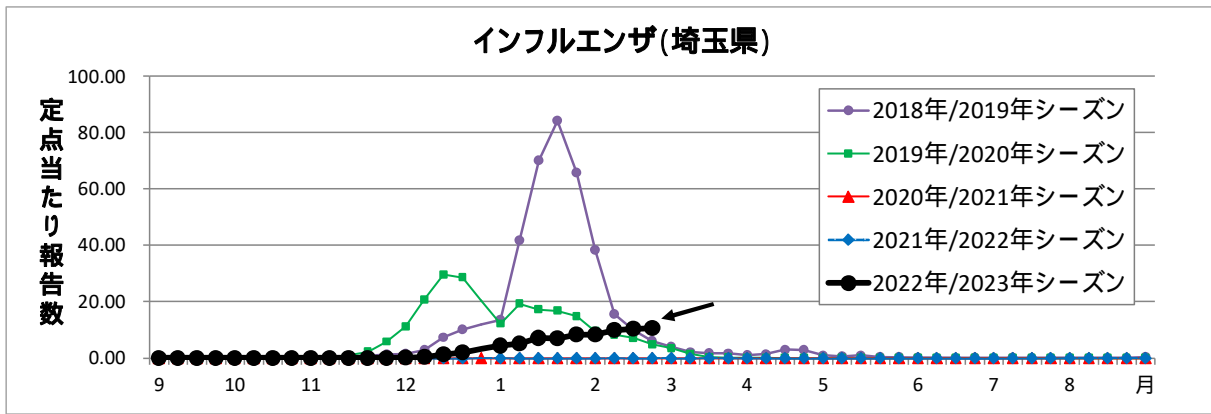


図2 保健所別流行状況の推移 (第7週~第9週)

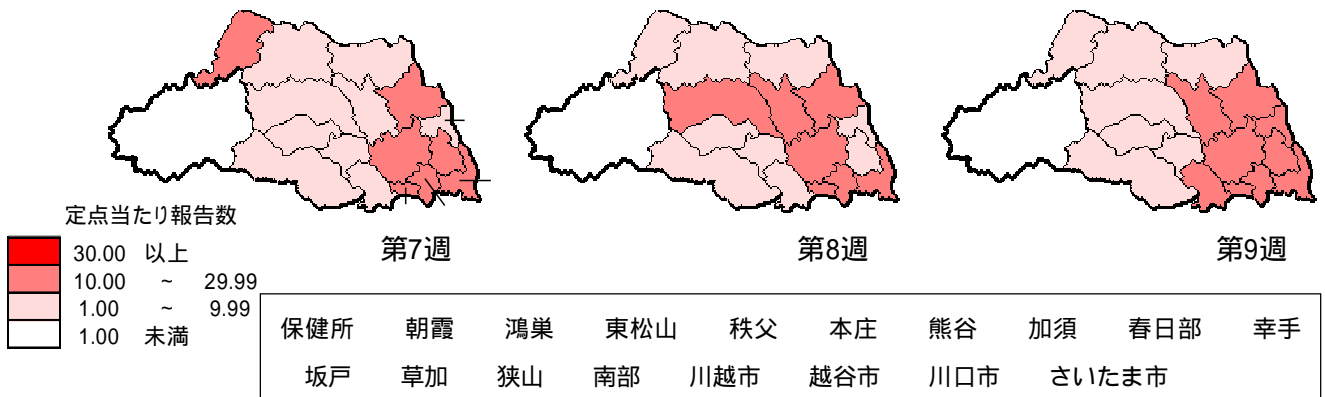
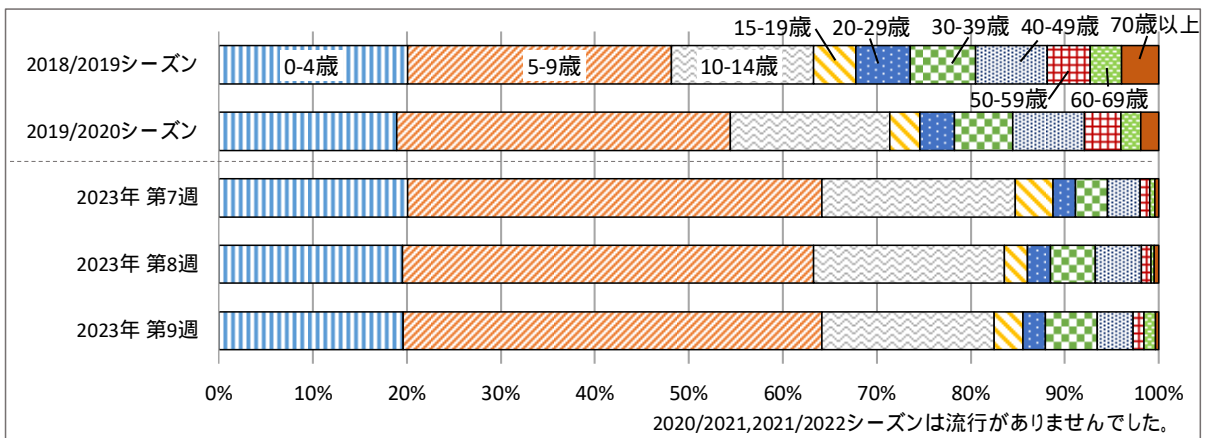


図3 年齢階級別報告割合の推移 (2018/2019・2019/2020 シーズン、2023年第7週~第9週)



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第9週)

(2023年3月7日 15:00集計)

	今週 届出	累 計	2022年 累計		今週 届出	累 計	2022年 累計
一類感染症							
エボラ出血熱				ベスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
二類感染症							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核 * 1	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
三類感染症							
コレラ				腸チフス		1	1
細菌性赤痢		1		パラチフス		1	
腸管出血性大腸菌感染症	1	10	145				
四類感染症							
E型肝炎		7	35	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)			
A型肝炎		2	3	ニパウイルス感染症			
エキノコックス症				日本紅斑熱			
黄熱				日本脳炎			
オウム病			1	ハンタウイルス肺症候群			
オムスク出血熱				Bウイルス病			
回帰熱				鼻疽			
キャサナル森林病				ブルセラ症			
Q熱				ベネズエラウマ脳炎			
狂犬病				ヘンドラウイルス感染症			
コクシジオイデス症				発しんチフス			
サル痘		1		ポツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア			1
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チクングニア熱				レジオネラ症		7	96
つつが虫病				レプトスピラ症			
デング熱		1	2	ロッキー山紅斑熱			
五類感染症							
アメーバ赤痢		5	24	侵襲性肺炎球菌感染症		9	47
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		1	6	水痘(入院例に限る)		1	11
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	6	72	先天性風しん症候群			
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		1	1	梅毒	8	85	467
急性脳炎	1	8	35	播種性クリプトコックス症			10
クリプトスポリジウム症				破傷風	1	1	3
クロイツフェルト・ヤコブ病		2	7	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	5	41	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1
後天性免疫不全症候群		8	27	百日咳	1	6	14
ジアルジア症				風しん			2
侵襲性インフルエンザ*菌感染症			4	麻しん			
侵襲性髄膜炎*菌感染症			1	薬剤耐性アシネトバクター感染症			1
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症 * 2						

累計は診断日で集計

* 1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

* 2 県ホームページ「新型コロナウイルス感染症の県内の発生状況」(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/covid19/jokyo.html>)内の「陽性確認者」を参照してください。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2023年第9週

2月27日~3月5日)

保 健 所	報告数 定点当たり	インフルエンザ	R S ウイルス感染症	咽頭結膜熱	A 群レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)
		#1																		
全 県	報告数 2,722	27	24	54	893	18	3	1	45	-	9	-	6	1	-	-	-	1	7	
	10.63	0.17	0.15	0.34	5.55	0.11	0.02	0.01	0.28	-	0.06	-	0.15	0.09	-	-	-	0.09	0.64	
朝 霞	報告数 256	4	2	4	77	1	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	
	11.13	0.27	0.13	0.27	5.13	0.07	-	-	0.13	-	0.07	-	0.25	-	-	-	-	-	-	
鴻 巣	報告数 221	3	-	1	39	2	1	-	4	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	
	11.63	0.25	-	0.08	3.25	0.17	0.08	-	0.33	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	
東 松 山	報告数 53	-	-	1	24	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	6.63	-	-	0.20	4.80	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	
秩 父	報告数 1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	
	0.20	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	
本 庄	報告数 48	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	6.86	-	-	-	1.75	-	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊 谷	報告数 83	2	-	1	67	1	-	-	3	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
	6.38	0.25	-	0.13	8.38	0.13	-	-	0.38	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	
加 須	報告数 65	-	-	1	7	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	6.50	-	-	0.17	1.17	0.17	-	-	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
春 日 部	報告数 108	-	1	1	65	2	1	-	2	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	
	10.80	-	0.17	0.17	10.83	0.33	0.17	-	0.33	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	
幸 手	報告数 140	5	4	1	32	3	-	1	1	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	
	10.00	0.56	0.44	0.11	3.56	0.33	-	0.11	0.11	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	
坂 戸	報告数 79	-	-	-	26	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	7.90	-	-	-	4.33	-	-	-	0.33	-	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	
草 加	報告数 307	5	-	2	99	2	-	-	2	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	
	16.16	0.42	-	0.17	8.25	0.17	-	-	0.17	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	
狭 山	報告数 130	1	7	11	64	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	5.20	0.06	0.44	0.69	4.00	-	-	-	0.31	-	0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	
南 部	報告数 83	1	1	7	60	-	-	-	1	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	
	11.86	0.25	0.25	1.75	15.00	-	-	-	0.25	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	
川 越 市	報告数 60	-	-	-	17	1	-	-	1	-	1	-	-	*	*	*	*	*	*	
	4.62	-	-	-	2.13	0.13	-	-	0.13	-	0.13	-	-	*	*	*	*	*	*	
越 谷 市	報告数 175	-	-	3	20	1	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	
	13.46	-	-	0.38	2.50	0.13	-	-	0.75	-	0.13	-	-	-	-	-	-	-	1.00	
川 口 市	報告数 324	2	-	14	122	1	-	-	7	-	1	-	1	-	-	-	-	-	2	
	16.20	0.15	-	1.08	9.38	0.08	-	-	0.54	-	0.08	-	0.25	-	-	-	-	-	2.00	
さいたま市	報告数 589	4	9	7	166	3	1	-	3	-	2	-	2	1	-	-	-	1	3	
	14.73	0.15	0.35	0.27	6.38	0.12	0.04	-	0.12	-	0.08	-	0.25	1.00	-	-	-	1.00	3.00	

(- : 0.00)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

3月 7日

13:15 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2023年第9週

2月27日~3月5日)

	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~	
インフルエンザ #1	2,722	3	20	68	110	144	188	249	298	248	218	201	499	82	65	151	104	32	32	8	2	
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~							
RSウイルス感染症	27	6	4	5	7	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-							
咽頭結膜熱	24	-	-	2	5	2	8	4	2	1	-	-	-	-	-							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	54	-	1	3	5	4	14	4	6	5	2	2	5	2	1							
感染性胃腸炎	893	6	29	85	107	115	104	83	83	55	39	31	59	23	74							
水痘	18	1	1	1	1	2	-	-	2	-	2	4	3	1	-							
手足口病	3	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-							
伝染性紅斑	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
突発性発しん	45	-	12	28	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-							
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
流行性耳下腺炎	9	-	-	-	1	-	1	1	2	-	2	-	2	-	-							
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~		
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	1	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~					
細菌性髄膜炎 #2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-					
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
インフルエンザ(入院)	7	1	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-					3

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第7週 (2月13日～2月19日)

令和5年3月8日

<全国情報>

インフルエンザ: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は福井県(48.95)、石川県(46.44)、岩手県(33.98)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は253例と前週と比較して増加した。都道府県別では38都道府県から報告があり、年齢別では0歳(17例)、1～9歳(131例)、10代(22例)、20代(4例)、30代(7例)、40代(3例)、50代(7例)、60代(10例)、70代(27例)、80歳以上(25例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの): RSウイルス感染症の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は長崎県(1.43)、北海道(1.31)、富山県(1.24)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は福井県(0.96)、鹿児島県(0.57)、山口県(0.56)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は長崎県(2.00)、鳥取県(1.89)、福岡県(1.62)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は愛媛県(17.54)、宮崎県(14.47)、富山県(12.28)である。手足口病の定点当たり報告数は第4週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.91)、福井県(0.52)、高知県(0.26)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位2位は滋賀県(0.06)、大分県(0.06)、青森県(0.05)、長崎県(0.05)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は熊本県(0.58)、佐賀県(0.43)、福岡県(0.36)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は大分県(0.14)、青森県(0.10)、富山県(0.10)、島根県(0.09)である。

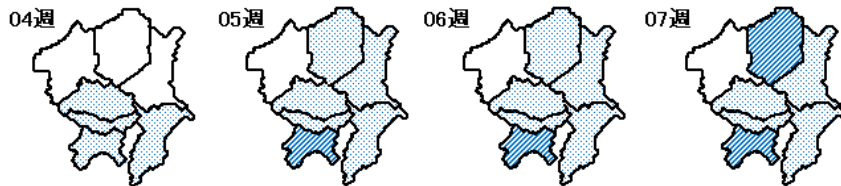
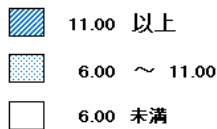
基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では青森県(0.50)、奈良県(0.17)、秋田県(0.13)、山口県(0.11)、茨城県(0.08)、新潟県(0.08)から報告があった。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。6都道府県から10例報告があり、年齢別では0歳(2例)、1～4歳(4例)、5～9歳(3例)、10代(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2023年 第7週(2月13日～2月19日): 通巻第25巻 第7号 より

<関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、神奈川県(13.57)、栃木県(11.11)からの報告が多い。

インフルエンザ



2023年 07週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	62,101	15,734	862	844	333	2,545	2,180	4,138	4,832
	定点当たり	12.56	10.37	7.18	11.11	3.87	9.98	10.28	10.04	13.57
RSウイルス感染症	報告数	1,009	65	5	2	8	22	4	9	15
	定点当たり	0.32	0.07	0.07	0.04	0.15	0.14	0.03	0.03	0.07
咽頭結膜熱	報告数	554	106	7	4	5	36	2	25	27
	定点当たり	0.18	0.11	0.09	0.08	0.09	0.23	0.02	0.10	0.12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	1,660	390	39	36	24	59	66	92	74
	定点当たり	0.53	0.41	0.52	0.75	0.45	0.37	0.50	0.35	0.33
感染性胃腸炎	報告数	23,029	6,504	403	343	432	1,160	906	1,835	1,425
	定点当たり	7.31	6.82	5.37	7.15	8.15	7.25	6.86	7.06	6.31
水痘	報告数	264	77	1	3	7	21	10	24	11
	定点当たり	0.08	0.08	0.01	0.06	0.13	0.13	0.08	0.09	0.05
手足口病	報告数	242	40	1	2	1	14	2	16	4
	定点当たり	0.08	0.04	0.01	0.04	0.02	0.09	0.02	0.06	0.02
伝染性紅斑	報告数	46	15	1	-	-	5	1	5	3
	定点当たり	0.01	0.02	0.01	-	-	0.03	0.01	0.02	0.01
突発性発疹	報告数	686	185	5	12	18	38	11	53	48
	定点当たり	0.22	0.19	0.07	0.25	0.34	0.24	0.08	0.20	0.21
ヘルパンギーナ	報告数	157	13	2	-	1	-	2	6	2
	定点当たり	0.05	0.01	0.03	-	0.02	-	0.02	0.02	0.01
流行性耳下腺炎	報告数	96	29	1	2	3	8	4	7	4
	定点当たり	0.03	0.03	0.01	0.04	0.06	0.05	0.03	0.03	0.02
急性出血性結膜炎	報告数	5	2	-	-	-	-	-	1	1
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	-	0.03	0.02
流行性角結膜炎	報告数	155	52	10	8	1	8	8	2	15
	定点当たり	0.22	0.25	0.59	0.67	0.07	0.20	0.24	0.05	0.31
細菌性髄膜炎 #2	報告数	8	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数	10	2	-	-	-	-	-	1	1
	定点当たり	0.02	0.02	-	-	-	-	-	0.04	0.09
マイコプラズマ肺炎	報告数	8	1	1	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.02	0.01	0.08	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	10	1	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	-	-	-	0.09

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(--:0.00)

この情報は感染症法に基づく感染症発生動向調査により、埼玉県衛生研究所、さいたま市健康科学研究センター、川越市保健所、越谷市保健所及び川口市保健所の病原体検査情報をまとめたものです。

今月のコメント

2月に採取されたインフルエンザ検体は49検体で、AH3が40件、B型が1件検出されました。

細菌検出状況

令和5年2月28日現在

病原体名		分離月	1月	2月	3月	備考（2月分）
三類	赤痢菌		1(1)			
	チフス菌		1(1)			
	パラチフスA菌			1(1)		<i>Salmonella. Paratyphi A</i> : 1(ネパール)
	腸管出血性大腸菌O157		2			
四類	レジオネラ属菌		1	1		<i>Legionella pneumophila</i> 血清群1 : 1
五類	溶血性レンサ球菌（劇症型）		2			
	その他		4			

()内は海外感染例再掲

ウイルス検出状況

全数把握対象疾患

新型インフルエンザ等感染症 令和5年3月2日 現在(累計: 令和5年1月~)

臨床診断名	ウイルス	採取月 検体合計数			
		1月	2月	3月	累計
新型コロナウイルス感染症	検体数	94	194		288
	新型コロナウイルス	6	15		21

四類感染症 令和5年3月2日 現在(累計: 令和5年1月~)

臨床診断名	ウイルス	採取月 検体合計数			
		1月	2月	3月	累計
E型肝炎	検体数	5	1		6
	E型肝炎	4			4
	検査中		1		1
A型肝炎	検体数		1		1
	検査中		1		1
サル痘	検体数	1			1
	サル痘	1			1
デング熱	検体数	1			1
	デング	1			1

五類感染症 令和5年3月2日 現在(累計: 令和5年1月~)

臨床診断名	ウイルス	採取月 検体合計数				その他のウイルス
		1月	2月	3月	累計	
急性弛緩性麻痺	検体数	30	13		43	サイトメガロ(3)
	検査中	5			5	
急性脳炎 (四類以外)	検体数	8	10		18	
	検査中	8	9		17	
風しん	検体数	4			4	
	風しん					
麻しん	検体数	13	3		16	水痘帯状疱疹しん(3)
	麻しん		3*		3	
	検査中					

*麻しん、風しんウイルスは陰性です。

定点把握対象疾患

季節性インフルエンザ **

令和5年3月2日 現在(累計:令和5年1月~)

臨床診断名	採取月	令和5年3月2日 現在(累計:令和5年1月~)												累計	その他のウイルス	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
インフルエンザ	検体数	53	49												102	RS(1)
	インフルエンザ AH1pdm09															
	インフルエンザ AH3	50	40												90	
	インフルエンザ B	1	1												2	
	検査中		8												8	

** インフルエンザ様疾患病原体サーベイランスの結果を含む。

五類定点把握対象疾患(季節性インフルエンザを除く)

令和5年3月2日 現在(累計:令和5年1月~)

臨床診断名	ウイルス	令和5年3月2日 現在(累計:令和5年1月~)												累計	その他のウイルス	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
感染性胃腸炎	検体数	12	21												33	
	ノロ	1	1												2	
	サボ	1													1	
	アストロ															
	ロタ(A)															
	アデノ 40/41															
	検査中		1												1	
ヘルパンギーナ	検体数	1	2												3	
	コクサッキー A4															
	コクサッキー A6															
	検査中	1	2												3	
流行性角結膜炎	検体数	1	2												3	
	アデノ 37															
	アデノ 54															
	アデノ 64															
無菌性髄膜炎	検体数	9	16												25	
	検査中		3												3	

インフルエンザ様疾患病原体サーベイランス

臨床診断名	採取月	令和5年3月2日 現在(累計:令和5年1月~)												累計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
インフルエンザ様疾患	検体数	86	73												159
	新型コロナウイルス	21	14												35
	インフルエンザAH3	48	36												84
	インフルエンザB	1	1												2
	RS	1													1
	コロナ HKU1	4	3												7
	コロナ NL63		1												1
	ライノ		2												2
	ボカ		1												1
	アデノ 1	1													1
	検査中		7												7

令和4年9月より、インフルエンザ様症状を有する患者から採取した検体を積極的に収集し検査する「インフルエンザ様疾患病原体サーベイランス」が開始されました。

インフルエンザ様疾患病原体サーベイランス

2022/2023 シーズンは 3 年ぶりとなるインフルエンザの流行や COVID-19 との同時流行が懸念されました。そこで流行の早期探知やインフルエンザ以外の他の病原体の流行状況をとらえる観点から、2022/2023 シーズンについては、インフルエンザ様疾患（38 度以上の発熱かつ急性呼吸器症状（鼻汁、鼻閉、咽頭痛又は咳のいずれか 1 つ以上））の検体も積極的に収集し検査しています（収集検体総数 300 検体 [3 月 2 日現在]）。

インフルエンザウイルスについては、検出状況を埼玉県感染症情報センターのホームページで毎週更新しています（<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/srv-flu.html>）。また SARS-CoV-2 については、ゲノム解析の結果を公開しています

（<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/covid-19.html>）。

インフルエンザウイルス及び SARS-CoV-2 が検出されなかった検体(80 検体[3 月 2 日現在]) について、どのようなウイルスが検出されているかについては図 1 のとおりです。

検体数は少ないですが、80 検体中 35 検体から 41 件のウイルスが検出され（検出率 43.8%）ヒトメタニューモウイルス、RS ウイルス、コロナウイルス HKU1、ライノウイルス、パラインフルエンザウイルス 3 型などが検出されました。コロナウイルス HKU1 は、COVID-19 の原因ウイルスである SARS-CoV-2 よりも以前から風邪の原因ウイルスとして知られているコロナウイルスです。

急性呼吸器感染症の流行ウイルスの把握のためには、一定の検体数の確保が必要です。病原体定点医療機関の先生方には、流行ウイルスの把握のため、引き続き検体採取にご協力をお願いいたします。

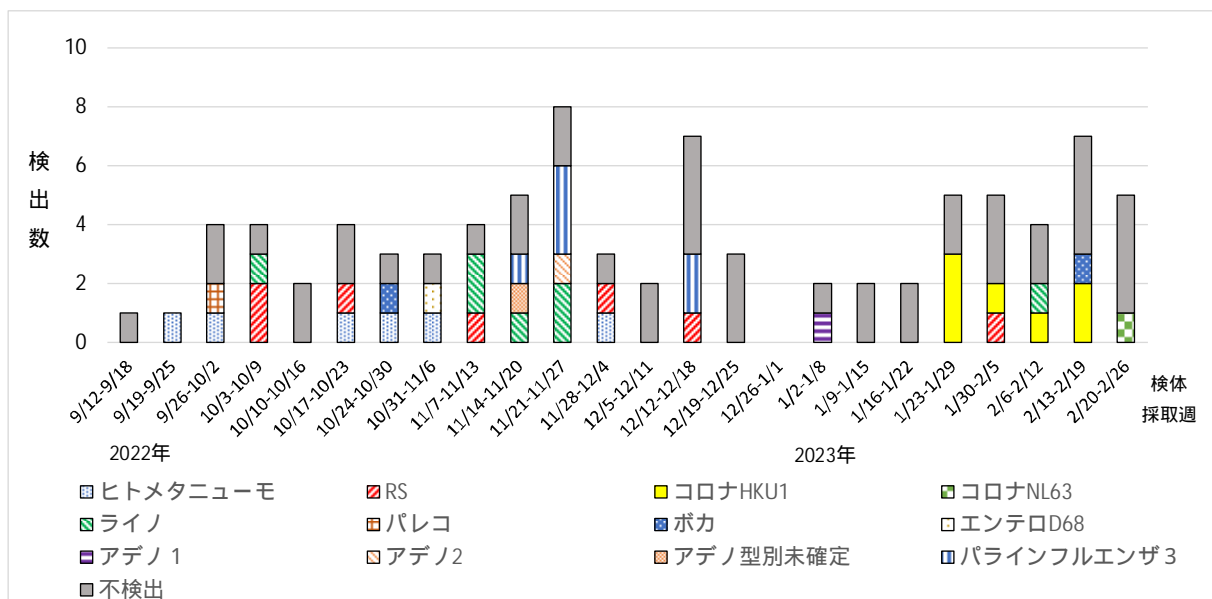


図 1 インフルエンザウイルス及び SARS-CoV-2 以外のウイルス検出状況

トップページ > 県政情報・統計 > 県概要 > 組織案内 > 保健医療部 > 保健医療部の地域機関 > 衛生研究所 > 感染症情報センター > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2023年 > 感染症の流行状況 2023年 第9週

感染症発生動向調査
2023年

- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第8週](#)

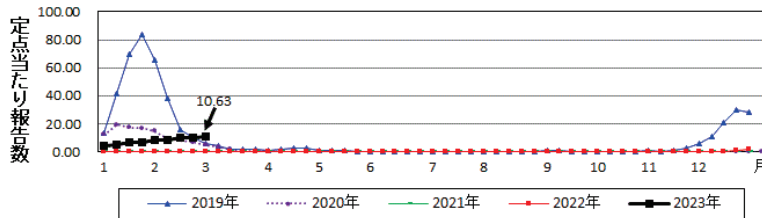
感染症の流行状況 2023年 第9週

2023年9週（2月27日～3月5日）の要点 令和5年3月8日

インフルエンザの定点当たり報告数は、前週と同水準でした。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [COVID-19\(新型コロナウイルス感染症\)に関する情報の掲載ページへ](#)

インフルエンザ(埼玉県)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★★	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	↓	★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★
感染性胃腸炎	↓	★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘(みずぼうそう)	→	★	流行性角結膜炎	→	★
手足口病	→	★			

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン